

要請番号 (JL06025A05)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ネパール	H113 作業療法士	20~45 歳のみ	個別	新規 5代目	2年	・2025/3・2026/1・ 2026/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

女性・子ども・高齢市民省

2) 配属機関名 (日本語)

国立障害者基金

3) 任地 (バグマティ州カトマンズ郡カトマンズ) JICA事務所の所在地 (カトマンズ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車で約0.5時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、ネパールの内戦により障害者の数が増大したことを受け、2005年にハンディキャップ・インターナショナル・ネパール(HIN)の支援でリハビリテーションセンターを立ち上げた。主な事業は、センターにおける義肢装具や車椅子等の作製及びリハビリテーションの提供である。年数回行われる村落巡回キャンプでも同様のサービスを提供している。理学療法中心で対応していた状況から、作業療法を取り入れたリハビリテーションへの進化を目指しており、現在、作業療法は理学療法室内で提供している。配属先には2019年までに、自立的に作業療法サービスを実施するための技術、環境的支援として作業療法士の海外協力隊5名が派遣され、活動を行った。年間予算は約2000万円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ネパール全体での作業療法の知名度はまだ低い、障害児・者や高齢者、またその関連施設においては作業療法のニーズは高い。また、ネパールでは作業療法士は国家資格ではなく、国内に養成校がないため、国内で働くネパール人作業療法士は外国で学んだごく少数である。歴代隊員は作業療法の知識・技術を共有、評価シートを作成、作業療法スペースと治療道具の作製・準備を行ってきた。今般、隊員は同基金が設立したセンター(週2日程度)と、首都郊外に位置する脊髄損傷リハビリセンター(週4日程度、国内唯一の脊髄損傷に特化した医療NGO)にて活動することが期待されており、引き続き、ネパールでの作業療法サービスの定着を継続して目指すべく本要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 配属先のリハビリセンターおよび首都郊外の脊髄損傷リハビリセンター(NGO)にて、同僚と共に作業療法を実施し、リハビリ対象者の回復を支援する。
- 配属先スタッフに対し作業療法に関する知識・技術の実践的指導を行う。
- 村の巡回や在宅訪問サービスに同行し、リハビリ対象者の生活の質の向上を支援する。
- 関連機関やネパールの作業療法士と連携し、作業療法普及を目指した活動の支援を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ベッド(3台)、ADL訓練器具、三角マット等、小児用クッション、ティルトテーブル、小児用玩具、セラピーボール、円柱型クッション、自助具、CPチェア、ダンベル、平行棒、自転車型トレーニング機器等、各種器具

4) 配属先同僚及び活動対象者

施設長1名、施設マネージャー2名、リハビリマネージャー1名、理学療法士2名、義肢装具部門6名、ソーシャルワーカー2名、地方巡回スタッフ4名、事務スタッフ等7名。活動対象者は小児と成人がほぼ同数。主な疾患は脳性まひ、自閉症、

ADHD、脊髄損傷、切断、脳梗塞など。NGOは40～50名体制。理学療法士15名、PMR(フィジカル・メディスン・リハビリ・ドクター)2名。

5) 活動使用言語

ネパール語

6) 生活使用言語

ネパール語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(作業療法士)

[学歴]：(専門学校卒) 保健医療 備考：実践的な活動のため

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：指導的な活動のため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(温暖冬季少雨気候) 気温：(0～35℃位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(安定)

【特記事項】

現在配属先には作業療法士いない。配属先は作業療法士の雇用へ向けた努力を重ねているが、隊員が着任時に作業療法士はいない可能性もある。(参考URL:<https://www.sirc.org.np/>)